

東京都立
農業高校

服飾科3年生

第42回 日本ホビーショー2018 に出演

審査員特別賞を受賞



平成30年4月28日（土）東京ビッグサイトにて日本最大のハンドメイドイベントである「日本ホビーショー」（延べ約15万人が来場）が開催されました。服飾科3年生がメインステージで行われた「学生ハンドメイドグランプリ2018」に出演し、大学や専門学校も出演している中、審査員特別賞を受賞しました。審査員からは「高校生らしいエネルギーがあり、好感のもてるショーでした。今後の成長が楽しみです。」との講評をいただきました。出演していた大学生・専門学校生の作品はデザインの的にも技術的にも素晴らしく、大変勉強になりました。上級学校の出演者の中に、農業高校の卒業生が複数おり、その点でも刺激を受けていました。

服飾科では、11月の文化祭で2年生・3年生がファッションショーを行っており、今回のショーは昨年度のものをアレンジし、3月からウォーキングの構成を組み直し、試行錯誤しながら練習を重ねてきました。3年生は、より良いショーにすべく例年にも増して真摯に取り組んでいました。



●大学のファッションショーを見て、素材を生かして作るというのを学びました。去年、私が参加したファッションショーでは、色や形などのデザインを考えるのに必死で素材のことまで頭が回らなかったのですが、今年は素材を考えながらデザインするというのをやりたいと思いました。(3年4組 S.T)

●もっと基礎的なことから勉強しないといけないと感じたので、姿勢・表情は文化祭までに完璧にしたいなと思います。一つひとつのグループが技術も発想も、フレッシュさもすごかったと言われるようなショーを完成させたいです。(3年4組 H.K)

●本番はすごく緊張したけど、自分のグループだけではなく、クラス全員が本当に頑張りました。最後までできて一番感動しました。3年生の文化祭は最後のファッションショーなので、みんなと協力して、去年よりもっといいショーにしたいと思いました。

(3年4組 T.T.T)



●1年生の時から、ずっと見る側だったから、出演する側になって不思議な気持ちになった。最終日に農高がトリで出演したのが本当にすごいことだなと感じた。

(3年4組 R.A)

●今回、ファッションショーを終えて、練習していたとおりにポーズができなかったとか、表情をうまく作れなかったとか……。でも後悔が残ったのは、ショーに対して本気で取り組んでいるからだと思う。ああすれば良かった、こうすれば良かったがあるうちが伸びしろがあると思うから、文化祭ファッションショーは先輩方を超すくらいのショーにしたい。(3年4組 S.K)